

調査名・目的； 配合設計  
工 事 件 名 ；  
試 料 名 ； 再 生 骨 材  
使 用 場 所 ； 鳥 取 合 材 工 場  
記 事 )

試験期日； 令和7年1月14日

試験者名； 繁 友 芳 明

試 験 条 件	100g,25°C,5秒			
試料番号・名称	1			
測定番号	1	2	3	測定値平均
針入度 (1/100cm)	22	24	25	24
試料番号・名称	2			
測定番号	1	2	3	測定値平均
針入度 (1/100cm)				
試料番号・名称	3			
測定番号	1	2	3	測定値平均
針入度 (1/100cm)				
試料番号・名称	4			
測定番号	1	2	3	測定値平均
針入度 (1/100cm)				
試料番号・名称	5			
測定番号	1	2	3	測定値平均
針入度 (1/100cm)				

工 事 件 名 :

路 線 名 :

調査名目的: 配合設計

試 料 種 類 : 再生骨材0-13mm

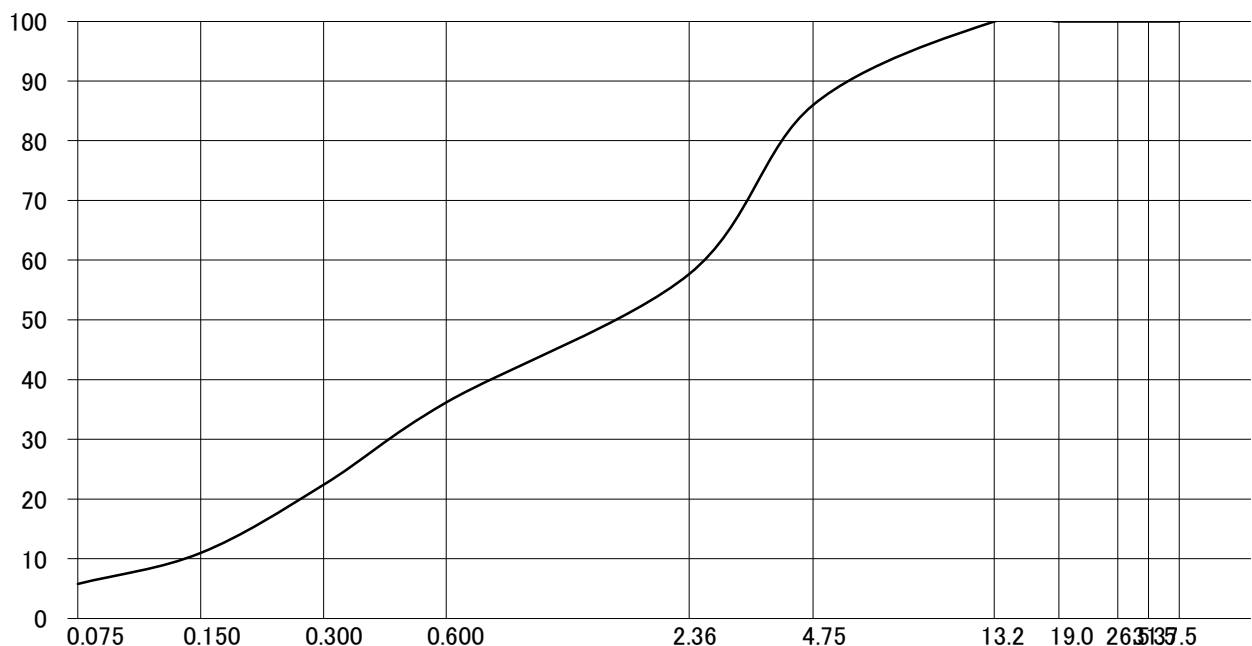
試 験 期 日 : 令和7年1月14日

採 取 箇 所 : 徳島合材工場

試 験 者 : 繁 友 芳 明

コアNo.		1	2	3	平均
①	(試料+濾紙)重量 g	922.6	914.4	920.0	
②	濾紙重量 g	41.1	40.0	39.7	
③	試料重量 g	881.5	874.4	880.3	
④	(抽出骨材+濾紙)重量 g	881.4	870.8	877.0	
⑤	抽出骨材重量 g	840.3	830.8	837.3	
⑥	抽出アスファルト量 g	41.2	43.6	43.0	
⑦	抽出アスファルト含有量 %	4.67	4.99	4.88	4.85

コアNo.	1			2			3			平均	
	ふるい mm	累加残留 g	累加残留 %	通過 %	累加残留 g	累加残留 %	通過 %	累加残留 g	累加残留 %		通過 %
	31.5	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0
	26.5	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0
	19.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0
	13.2	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0
	4.75	92.4	11.0	89.0	131.3	15.8	84.2	127.3	15.2	84.8	86.0
	2.36	321.8	38.3	61.7	368.9	44.4	55.6	370.1	44.2	55.8	57.7
	0.600	531.1	63.2	36.8	541.7	65.2	34.8	527.5	63.0	37.0	36.2
	0.300	650.4	77.4	22.6	654.7	78.8	21.2	641.4	76.6	23.4	22.4
	0.150	756.3	90.0	10.0	742.7	89.4	10.6	733.5	87.6	12.4	11.0
	0.075	794.1	94.5	5.5	783.4	94.3	5.7	785.4	93.8	6.2	5.8



工 事 件 名 :

路 線 名 :

調 査 名 ・ 目 的 : 配合設計

混 合 物 の 種 類 : 再生骨材0-13mm

試 験 日 : 令和7年1月15日

採 取 箇 所 : 鳥取合材工場

試 験 者 : 繁 友 芳 明

記 事)

採 取 位 置 ( コ ア No,)				
試 料 番 号	1	2		
フ ラ ス コ の 番 号				
① (試料+フラスコ)重量				
② フラスコ重量	1,039.6	1,039.6		
③ 試料乾燥重量	①-②	1,520.4	1,518.0	
④ (水+フラスコ)重量		3,729.0	3,729.0	
⑤ (試料+水+フラスコ)重量		4,622.7	4,625.6	
⑥ 試料の容積	③+④-⑤	626.7	621.4	
⑦ 最大比重	③/⑥	2.426	2.443	
最大比重の平均値		2.434		
採 取 位 置 ( コ ア No,)				
試 料 番 号				
フ ラ ス コ の 番 号				
① (試料+フラスコ)重量				
② フラスコ重量				
③ 試料乾燥重量	①-②			
④ (水+フラスコ)重量				
⑤ (試料+水+フラスコ)重量				
⑥ 試料の容積	③+④-⑤			
⑦ 最大比重	③/⑥			
最大比重の平均値				

備 考)

定規 21.6 g

**骨材の微分量試験**

試料番号： \_\_\_\_\_

試験年月日： 令和7年1月16日

調査名・目的： 配合設計

使用場所： 鳥取合材工場

試料採取場所： スtockヤード

試験者： 繁友芳明

試料の種類	再生骨材			
	1		2	
測定番号	1	2	1	2
① 洗う前の試料の乾燥質量 (g)	2254.2	2158.6		
② 洗った後の試料の乾燥質量 (g)	2196.6	2102.6		
③ 骨材の微粒分量				
$\frac{\text{①} - \text{②}}{\text{①}} \times 100$ (%)	2.6	2.6		
④ 平均値 (%)		2.6		

試料の種類				
	1		2	
測定番号	1	2	1	2
① 洗う前の試料の乾燥質量 (g)				
② 洗った後の試料の乾燥質量 (g)				
③ 骨材の微粒分量				
$\frac{\text{①} - \text{②}}{\text{①}} \times 100$ (%)				
④ 平均値 (%)				

備考 )

# 試験結果

## 道路用骨材

受付番号	250116008	生産地・採取地	岡山県美作市美作町巨勢
名称等	S-20(5号)	生産者・採取者	(株)北部砕石
試験年月日	令和7年2月10日	試験責任者	大西 慶祐
備考	*		

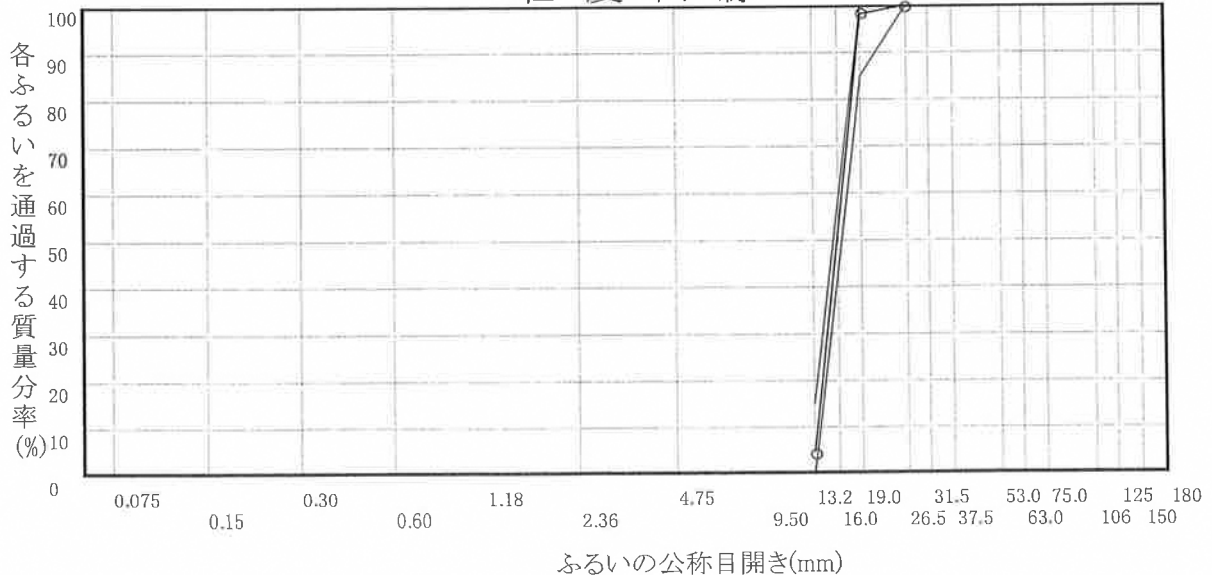
## 試験結果

密度及び 吸水率 JISA1110: 2006	表乾密度	2.680 g/cm <sup>3</sup>
	かさ密度	2.653 g/cm <sup>3</sup>
	見掛密度	2.727 g/cm <sup>3</sup>
	吸水率	1.010 %
単位容積質量 JISA1104:2006		1.58 kg/L
実積率 JISA1104:2006		59.6 %
微粒分量 JISA1103:2014		* %
すりへり減量 JISA1121:2022		10.4 %
安定性 JISA1122:2014		%
有機不純物 JISA1105:2015		*
塩化物 JISA5002:2003		* %
粗骨材の軟石質量分率 旧 JISA1126:2007		%
軽い粒子の質量分率 旧 JISA1141:2007		* %
粘土塊量 JISA1137:2014		0.05 %

## ふるい分け試験結果 JISA1102:2014

種別 ふるいの 公称目開き(mm)	連続する 各ふるいの 間にとどまる 質量分率 (%)	各ふるいに とどまる 質量分率 (%)	各ふるいを 通過する 質量分率 (%)
26.5	*	*	100.0
19.0	*	*	98.4
13.2	*	*	4.7
粗粒率	7.02		
摘要			

## 粒度曲線



# 試験結果

## 道路用骨材

受付番号	250116008	生産地・採取地	岡山県美作市美作町巨勢
名称等	S-13(6号)	生産者・採取者	(株)北部砕石
試験年月日	令和7年2月10日	試験責任者	大西 慶祐
備考	*		

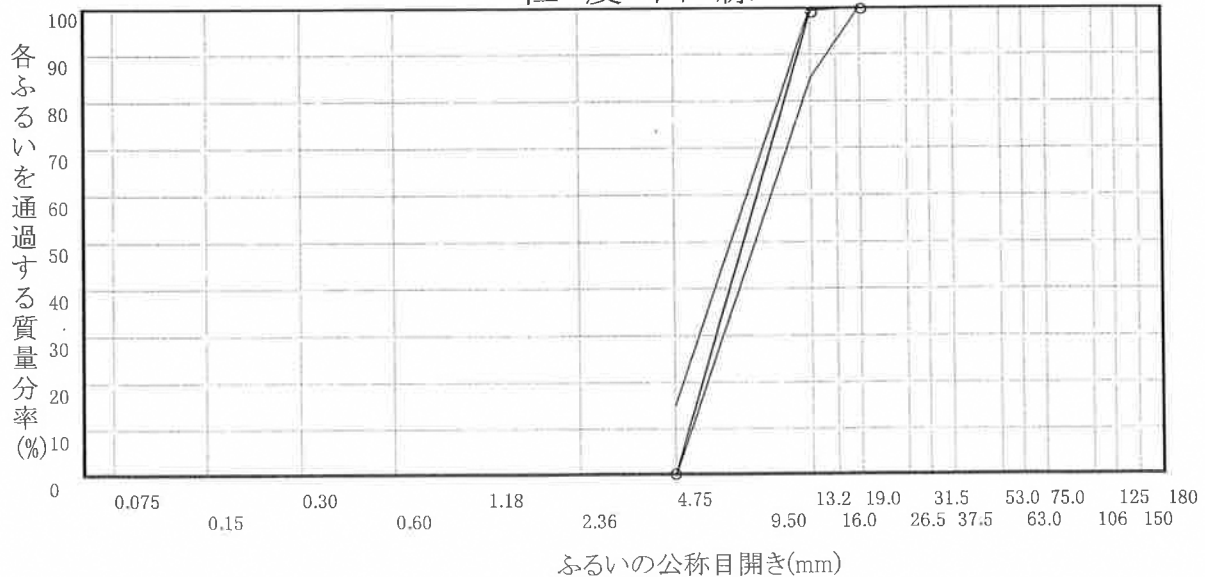
## 試験結果

密度及び 吸水率 JISA1110: 2006	表乾密度	2.686 g/cm <sup>3</sup>
	かさ密度	2.657 g/cm <sup>3</sup>
	見掛密度	2.736 g/cm <sup>3</sup>
	吸水率	1.087 %
単位容積質量 JISA1104:2006	1.55 kg/L	
実積率 JISA1104:2006	58.3 %	
微粒分量 JISA1103:2014	* %	
すりへり減量 JISA1121:2022	粒度区分 30%以下 (*) 11.9 %	
安定性 JISA1122:2014	4.2 %	
有機不純物 JISA1105:2015	*	
塩化物 JISA5002:2003	* %	
粗骨材の軟石質量分率 旧 JISA1126:2007	%	
軽い粒子の質量分率 旧 JISA1141:2007	* %	
粘土塊量 JISA1137:2014	0.04 %	

## ふるい分け試験結果 JISA1102:2014

種別 ふるいの 公称目開き(mm)	連続する 各ふるいの 間にとどまる 質量分率 (%)	各ふるいに とどまる 質量分率 (%)	各ふるいを 通過する 質量分率 (%)
19.0	*	*	100.0
13.2	*	*	99.2
4.75	*	*	0.5
粗粒率	6.43		
摘要			

## 粒度曲線



# 試験結果

## 道路用骨材

受付番号	250116008	生産地・採取地	岡山県美作市美作町巨勢
名称等	S-5(7号)	生産者・採取者	(株)北部砕石
試験年月日	令和7年2月10日	試験責任者	大西 慶祐
備考	*		

## 試験結果

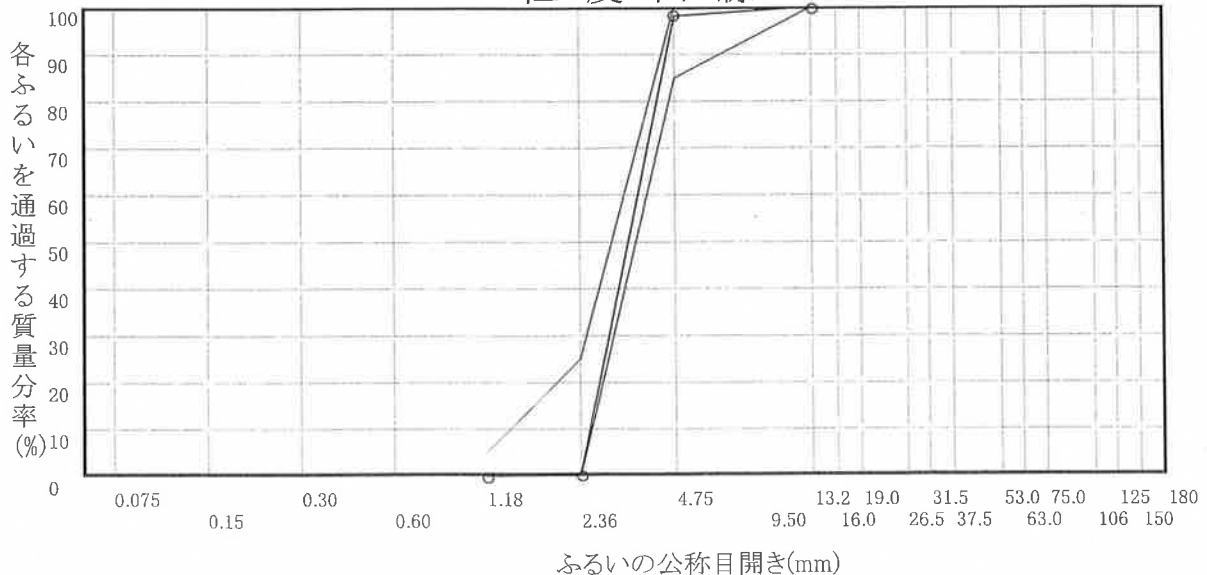
密度及び 吸水率 JISA1110: 2006	表乾密度	2.667 g/cm <sup>3</sup>
	かさ密度	2.637 g/cm <sup>3</sup>
	見掛密度	2.719 g/cm <sup>3</sup>
	吸水率	1.141 %
単位容積質量 JISA1104:2006		1.53 kg/L
実積率 JISA1104:2006		58.0 %
微粒分量 JISA1103:2014		* %
すりへり減量 JISA1121:2022		粒度区分 (*): * %
安定性 JISA1122:2014		0.5 %
有機不純物 JISA1105:2015		*
塩化物 JISA5002:2003		* %
粗骨材の軟石質量分率 旧 JISA1126:2007		* %
軽い粒子の質量分率 旧 JISA1141:2007		* %
粘土塊量 JISA1137:2014		0.05 %

## ふるい分け試験結果

JISA1102:2014

種別 ふるいの 公称目開き(mm)	連続する 各ふるいの 間にとどまる 質量分率 (%)	各ふるいに とどまる 質量分率 (%)	各ふるいを 通過する 質量分率 (%)
13.2	*	*	100.0
4.75	*	*	98.3
2.36	*	*	0.4
1.18	*	*	0.0
粗粒率	5.02		
摘要			

## 粒度曲線



# 試験結果

## 道路用骨材

受付番号	250116008	生産地・採取地	岡山県美作市美作町巨勢
名称等	砕砂	生産者・採取者	(株)北部砕石
試験年月日	令和7年2月7日	試験責任者	大西 慶祐
備考	*		

### 試験結果

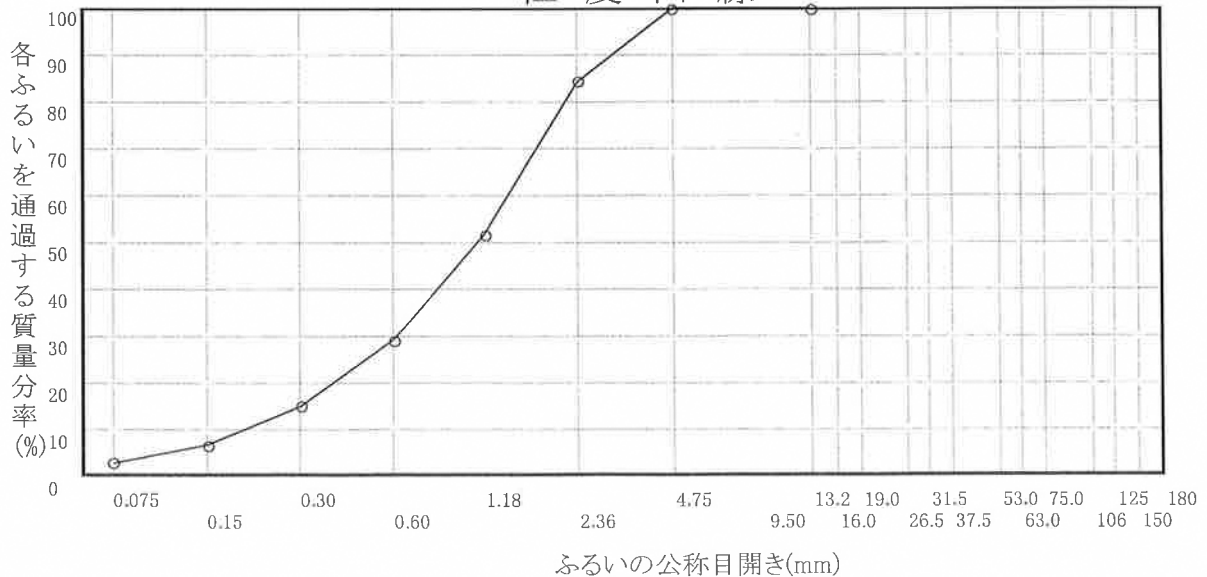
密度及び 吸水率 JISA1109: 2006	表乾密度	2.656 g/cm <sup>3</sup>
	かさ密度	2.605 g/cm <sup>3</sup>
	見掛密度	2.746 g/cm <sup>3</sup>
	吸水率	1.973 %
単位容積質量 JISA1104:2006		1.71 kg/L
実積率 JISA1104:2006		65.6 %
微粒分量 JISA1103:2014		* %
すりへり減量 JISA1121:2022		粒度区分 (*): * %
安定性 JISA1122:2014		1.0 %
有機不純物 JISA1105:2015		*
塩化物 JISA5002:2003		* %
粗骨材の軟石質量分率 旧 JISA1126:2007		* %
軽い粒子の質量分率 旧 JISA1141:2007		* %
粘土塊量 JISA1137:2014		0.00 %

### ふるい分け試験結果

JISA1102:2014

種別 ふるいの 公称目開き(mm)	連続する 各ふるいの 間にとどまる 質量分率 (%)	各ふるいに とどまる 質量分率 (%)	各ふるいを 通過する 質量分率 (%)
13.2	*	*	100.0
4.75	*	*	99.9
2.36	*	*	84.5
1.18	*	*	51.7
0.60	*	*	29.2
0.30	*	*	15.1
0.15	*	*	6.8
0.075	*	*	3.0
受皿	*	*	*
粗粒率	3.13		
摘要			

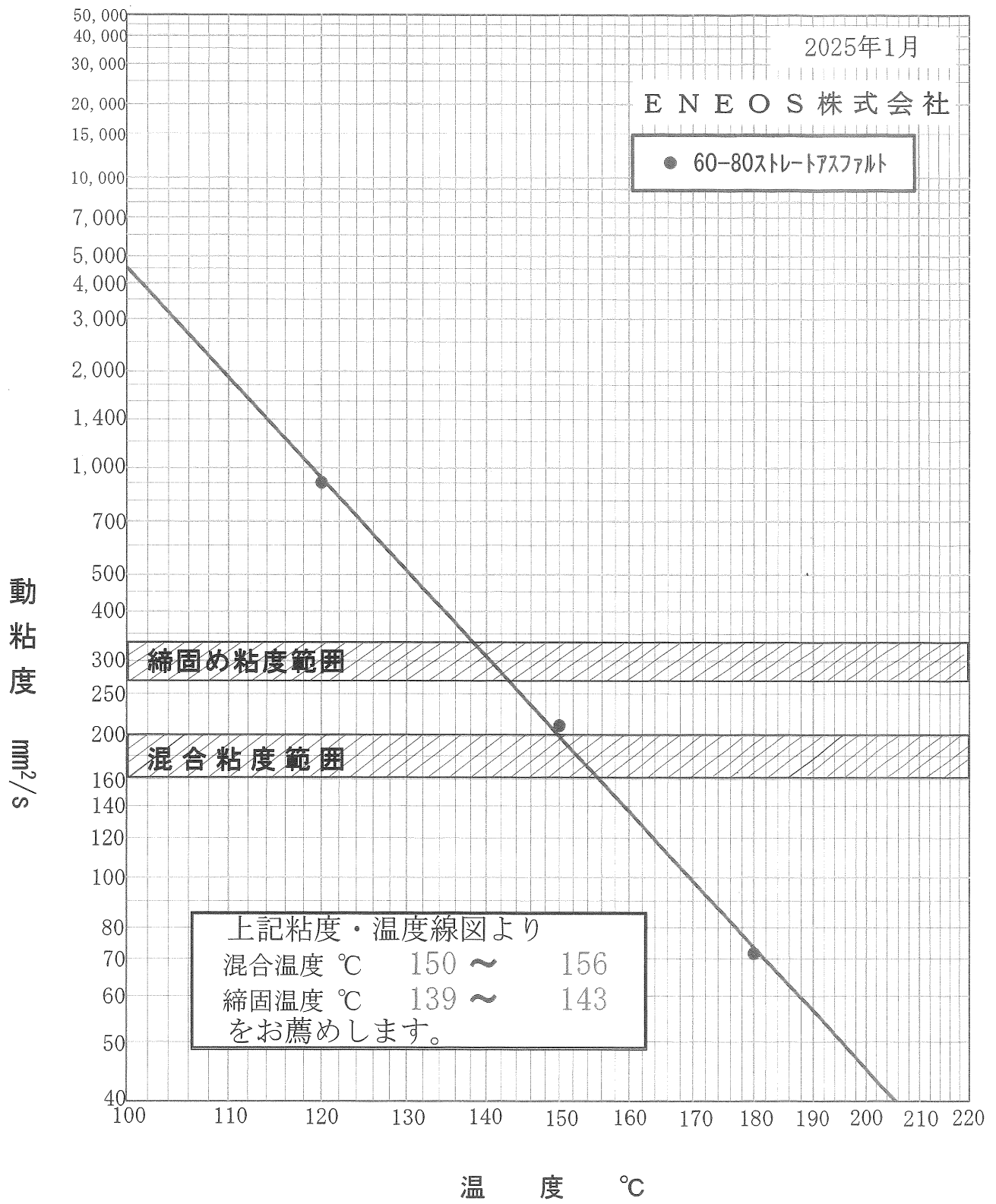
### 粒度曲線











粘度 - 温度図

出荷場所：水島B工場

# ポリマー改質アスファルト試験成績表

(令和7年2月代表性状)

品名 ラバーフィックス



昭和瀝青工業株式会社



試験項目	試験方法	試験結果	標準的性状※2
軟化点 °C	※1	56.5	50.0以上
伸度 (7°C) cm	〃	37	30以上
タフネス (25°C) N・m	〃	27.0	5.0以上
テナシティ (25°C) N・m	〃	22.4	2.5以上
針入度 (25°C) 1/10mm	〃	60	40以上
薄膜加熱質量変化率 %	〃	0.04	0.6以下
薄膜加熱後の針入度残留率 %	〃	70.0	65以上
引火点 °C	〃	356	260以上
密度 (15°C) g/cm <sup>3</sup>	〃	1.029	報告
最適混合温度 ※3 °C		160~175	
最適締固め温度※3 °C		150~160	
(備考)			
※1 舗装調査・試験法便覧〔第2分冊〕			
※2 (社) 日本道路協会 舗装設計施工指針 平成18年度版 ポリマー改質アスファルト I型			
※3 最適混合・締固め温度は室内配合設計時の推奨温度です。 作業標準のための適正施工(混合・締固め)温度については 現場施工条件に応じて設定して下さい。			

※上記の試験成績表は、前月生産実績等に基づき作成した代表性状で、納入品の実測値ではありません。

※この試験成績表には電子印を使用しております。

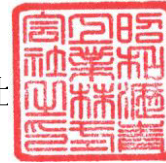
## ポリマー改質アスファルト試験成績表

(令和7年2月代表性状)

品名 レジフィックス



昭和瀝青工業株式会社



試験項目	試験方法	試験結果	標準的性状※2
軟化点 ℃	※1	61.0	56.0以上
伸度 (15℃) cm	〃	81	30以上
タフネス (25℃) N・m	〃	30.5	8.0以上
テナシティ (25℃) N・m	〃	25.9	4.0以上
針入度 (25℃) 1/10mm	〃	56	40以上
薄膜加熱質量変化率 mass %	〃	0.01	0.6以下
薄膜加熱後の針入度残留率 %	〃	69.6	65以上
引火点 ℃	〃	356	260以上
密度 (15℃) g/cm <sup>3</sup>	〃	1.029	報告
最適混合温度 ※3 ℃		165~180	
最適締固め温度※3 ℃		155~165	

(備考)

※1 舗装調査・試験法便覧〔第2分冊〕

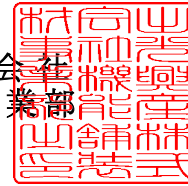
※2 (社) 日本道路協会 舗装設計施工指針 平成18年度版  
ポリマー改質アスファルト II型※3 最適混合・締固め温度は室内配合設計時の推奨温度です。  
作業標準のための適正施工(混合・締固め)温度については  
現場施工条件に応じて設定して下さい。

※上記の試験成績表は、前月生産実績等に基づき作成した代表性状で、納入品の実測値ではありません。

※この試験成績表には電子印を使用しております。

2025年1月

出光興産株式会社  
機能舗装材事業部



## 再生添加剤 試験成績表

品名：ダィナブ ロセオイル NP-250

1月代表性状

項目	(※1) 標準的性状	性状	
動粘度 mm <sup>2</sup> /s (60°C)	80～1,000	84.3	
引火点 (COC)°C	250以上	252	
薄膜加熱後の粘度比(60°C)	2以下	1.1	
薄膜加熱質量変化率 mass %	±3以下	-1.00	
密度 g/cm <sup>3</sup> (15°C)	報告	0.913	
組成分析(※2) %	アスファルテン分	報告	0.3
	飽和分	報告	73.4
	芳香族分	報告	23.3
	レジン分	報告	3.0

※1：「舗装再生便覧(令和6年版)」に記載の再生用添加剤の標準的性状

※2：石油学会法 J P I - 5 S - 7 7 - 2 0 1 9

上記の試験成績表は、前月生産実績等に基づき作成した当月の代表性状であり  
納入品の実測値ではありません。

令和 7年 1月 4日

# 分析報告書

共同アスコン 殿

岡山県真庭市宮地2252番地

中山石灰工業株式会社



品名：100mesh タンカル  
(アスファルト合材用)

上記の試料につきまして行いました分析の結果は、下記のとおりです。

## 成分試験

密度	2.72
水分	0.13 %
SiO <sub>2</sub>	0.26 %
CaO	55.10 %

## 粒度試験

ふるいの呼び寸法	ふるいの通過重量百分率
600 μ m	100 %
300 μ m	100 %
150 μ m	97.2 %
75 μ m	84.2 %

以下余白



責任者		係	
-----	--	---	--